

現在の会員数 一般会員 127名 団体会員 3団体 (令和6年3月現在)

講演会の報告 (第50回会員集会)

日時: 令和7年5月10日(土)13時30分~15時30分

場所: 日本水道会館会議室及びWEB (Zoom)

講演: 管路工事实務の実態

~計画、設計・積算から納入まで~

講師: 日本ダクタイル鉄管協会技監 木村康則 様



写真-1 講演中の木村様

木村様は、日本ダクタイル鉄管協会が設置した「管路更新を促進する工事イノベーション研究会」、「管路の強靱・持続に関する研究会」の検討内容、東京都水道局、日本水道協会におけるご自身の経験を踏まえ、①管路工事業務の流れ、②管路工事を取り巻く環境、③管路更新工事の現場の状況、④工事の施工品質の保証、⑤新たな日本ダクタイル鉄管協会の活動について説明。

様々な施工現場や事故事例を示し、管路工事の現状や課題などを紹介されたほか、管路工事業務の大まかな流れはほぼ一緒であるものの、事業者ごとの固有のルールなどがあり統一化は難しいと指摘され、管路の強靱・持続に関する研究会で実施要領、実施フロー等の標準化についても意見交換を深める方針などを説明されました。

結びにご自身の趣味である銭湯について、全国各地の豊富な事例を紹介されました。

水を語る会幹事による「若手が水道に思う話題提供」

講師: 松本 恭太幹事 (横浜市水道局)

松本幹事は、自身の経歴や担当業務、横浜市水道局の歴史や浄水場関連のトピックスなどを紹介したほか、経営企画課イノベーション推進担当として、組織再編やDX推進などに携わる中で感じたベテラン・中堅・若手職員の課題やあるべき姿について意見を述べました。



水を語る会「幹事が水道に思う話題提供コーナー」

講師: 渡邊 信義幹事 (㈱ジオプラン・ナムテック)

渡邊幹事は、自身の経歴や自社の事業内容などを説明したほか、人口減少による水道施設の課題として停滞水の発生や管路の適正口径化のタイミング判断などを挙げ、管網解析システムにより、持続的な管網の再編を支援していく方針を説明しました。



定例幹事会の報告

日時: 令和7年5月10日(土) 12時~12時50分

場所: 日本水道会館及びWEB 会議

議題: 次回・次回以降の講演者テーマと演者について

編集後記

第3回目の幹事による話題提供。松本幹事のそれぞれの年代の職員の課題やあるべき姿に関する発言に、懇親会で坂本弘道副会長がコメントするなど、年代を超えた意見交換のきっかけになっています。今後も継続できればと改めて感じました。(幹事 名取大輔)

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。
詳しくはホームページをご覧ください。

→ <http://mizuwokatarukai.org/>